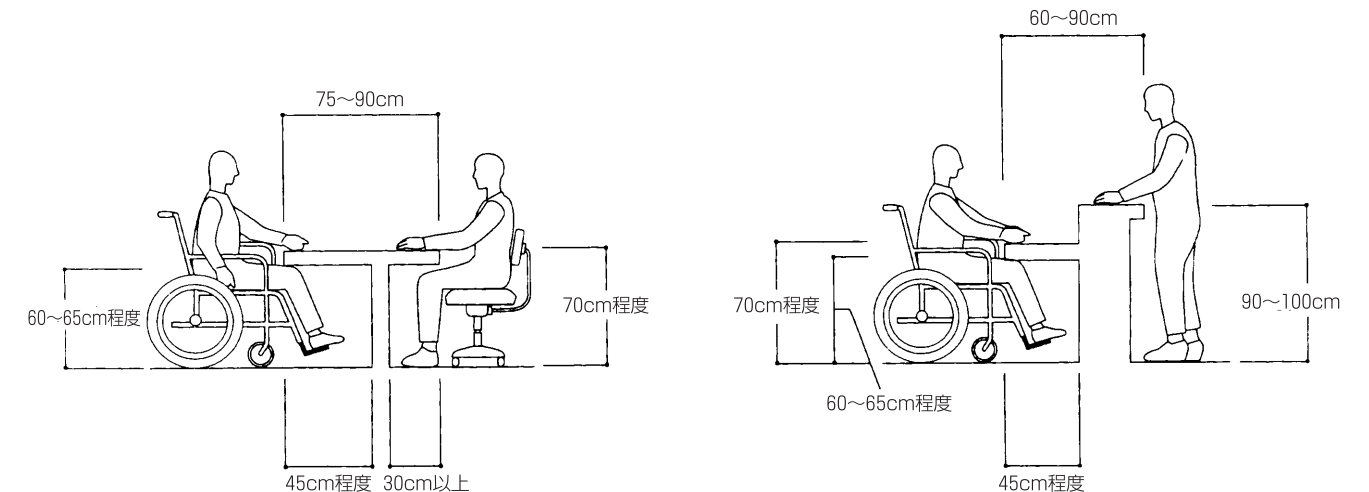


15 受付カウンター及び記載台

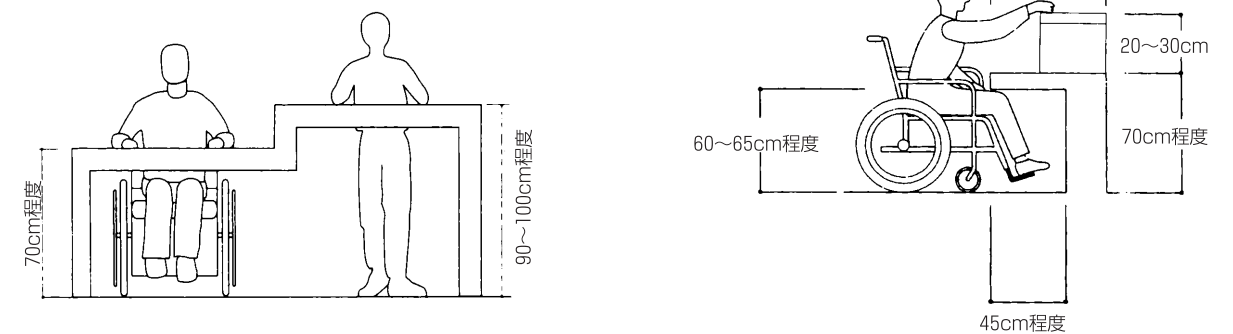
■基本的な考え方■

窓口等のカウンター及び記載台は、筆記による応対、対話による応対等の内容に応じて仕様を検討し、車いす使用者、杖使用者、高齢者等が使用しやすい形状、位置に設ける。

カウンターの基本寸法(図1)

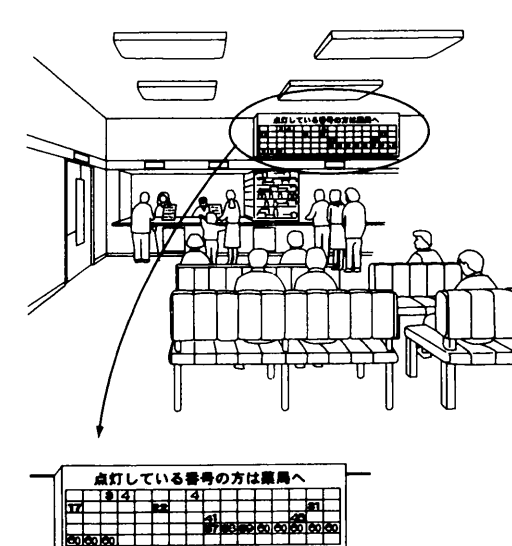


カウンター正面図

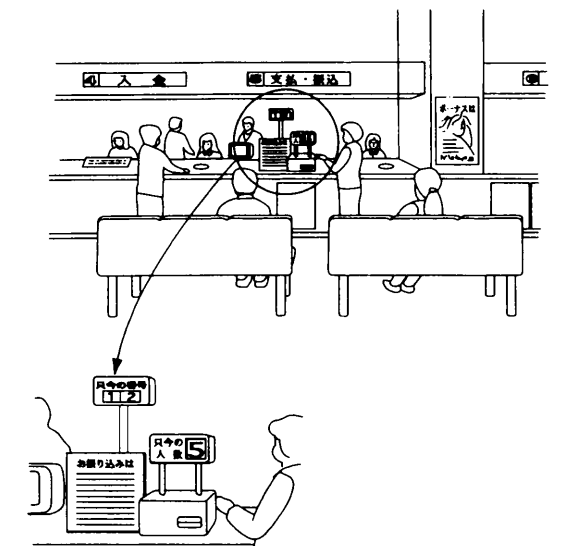


電光掲示による呼び出しカウンター例(図2)

病院



銀行



整備基準

15 受付カウンター及び記載台(以下この項において「受付カウンター等」という。)

受付カウンター等を設ける場合には、次に定める構造の受付カウンター等を1以上設けること。

- (1) 車いす使用者の利用に配慮した高さとする。
- (2) 下部に車いす使用者が利用しやすい空間を設けること。

目標となる指針

14 受付カウンター及び記載台(以下この項において「受付カウンター等」という。)

1 不特定かつ多数の者が利用する受付カウンター等を設ける場合には、次に定める構造の受付カウンター等を1以上設けること。

- (1) 車いす使用者の利用に配慮した高さとする。
- (2) 下部に車いす使用者が利用しやすい空間を設けること。
- 2 病院及び診療所において利用者の呼出しを行う受付カウンター等には、音声によるほか、文字による呼出し装置を設けるよう努めること。

整備基準の解説

●整備の対象

受付カウンター等を設ける場合には、一以上の受付カウンター等を車いす使用者が利用できる構造とする。

項目	解説
(1) 高さ	○下端: 60~65cm程度、上端: 70cm程度、奥行き45cm程度とし、下部には車いすのフットレストが入るようにクリアランスをとる。
(2) スペース	⇒図1参照

目標となる指針の解説

●整備の対象

不特定かつ多数の者が利用する受付カウンター等を設ける場合には、一以上の受付カウンター等を車いす使用者が利用できる構造とする。

項目	解説
2 案内標示等	○病院、診療所で呼び出しを行うカウンターには、音声によるほか、聴覚障害者用に電光掲示板等を併せて設置するよう努めること。
	⇒図2参照

配慮事項

項目	解説
カウンター周辺スペース	○車いす使用者が近接できるように、受付カウンター等の前面に車いす使用者が回転できるスペース(直径150cmの円が内接できる程度)を確保する。